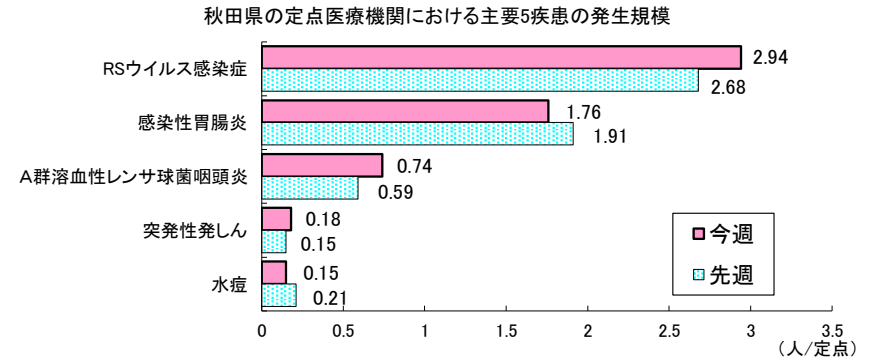




**【第20週の発生動向】**

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

- RSウイルス感染症は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田中央、大仙、湯沢で増加、横手で同規模、秋田市、由利本荘で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で8%減少しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田、能代、横手で減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、能代、秋田中央、大仙で増加、大館、湯沢で同規模、由利本荘、横手で減少しています。



**発生報告**

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減			
RSウイルス感染症	2.68	2.94	↗	6.86	6.29	↘									6.50	↗	10.50	4.75	↘		1.50	↗	0.33	0.33			1.33	↗		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.21	0.12	↘	0.43	0.14	↘			0.25	↗											0.75	0.25	↘				0.33	0.33		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.74	↗	0.43	0.57	↗	1.25	1.25			2.50	↗		0.33	↗	0.75	1.00	↗	0.25		↘	0.75	1.00	↗	1.33	0.33	↘	0.33	0.33	
感染性胃腸炎	1.91	1.76	↘	2.29	2.57	↗	2.00	1.50	↘	0.50		↘	3.67	3.33	↘	1.50	2.25	↗				1.75	2.25	↗	5.00	2.00	↘	0.33	0.67	↗
水痘	0.21	0.15	↘	0.29	0.14	↘		0.25	↗				0.67		↘	0.50	0.75	↗							0.33		↘			
手足口病		0.03	↗																									0.33	↗	
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.15	0.18	↗	0.14	0.43	↗	0.50		↘																		0.33		↘	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.06	↗																			0.50	↗							
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から26人、秋田中央保健所管内から24人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-19週		20週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	5409	22	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	367	8	
	腸チフス			
四類	パラチフス			
	E型肝炎	212		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	27		
	エキノкокクス症	12		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	30		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-19週		20週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	89		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	58		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	4		
	野兔病			
	ライム病	5		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	380	6	
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アミーバ赤痢	182	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	72	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	593	7	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	6		
	急性脳炎	111		
	クリプトスポリジウム症	2		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	62		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	238	3	
	後天性免疫不全症候群	339		
	ジアルジア症	14		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	78	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	508	5	1
	水痘(入院例に限る)	102	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	2200	16	
	播種性クリプトコックス症	46		
	破傷風	26		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	39		
百日咳	215	3		
風しん	6			
麻しん	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
* 新型コロナウイルス感染症		543	50	

\* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<6月1日～7日はHIV検査普及週間です！>



毎年、6月1日から6月7日はHIV(ヒト免疫不全ウイルス)検査普及週間に指定されています。エイズ(後天性免疫不全症候群)はHIVの感染により引き起こされます。しかし、感染しても早期に発見し、治療を開始することによってエイズの発症を防ぐことが可能です。検査は県内の各保健所において無料・匿名で受けることができます。この機会に検査を受けてみませんか。

■症状

HIVは血液や体液を介して感染します。感染から数週間後に風邪のような症状が一時的に現れることもありますが、その後は自覚症状に乏しいため、感染に気付かないまま経過します。しかし数年～10数年後、突然エイズを発症し、免疫力の低下から通常であれば問題とならないような感染症にかかりやすくなり、命に関わる場合もあります。

■HIV感染者・エイズ患者新規報告数

エイズ動向委員会の発表によると、全国のHIV感染者・エイズ患者新規報告のうち約3割が診断時に既にエイズを発症していました(図)。エイズ発症予防や感染拡大の防止のためには検査で早期発見することが重要です。

■相談・検査とその予約方法

保健所で検査を受ける場合は、あらかじめ電話で予約してください。相談者ごとに調整した時間に個別に相談・検査を実施します。採血から結果説明まではおよそ1時間です。また、県内エイズ治療拠点病院でも検査を受けられます(有料:1,500円程度)。

詳しくは秋田県保健・疾病対策課ウェブサイト(https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/987)等でご確認ください。

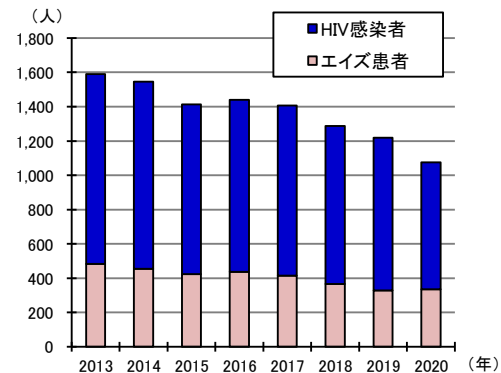


図 全国のエイズ患者およびHIV感染者数の推移 (エイズ動向委員会発表 2021年3月22日)



感染性胃腸炎情報

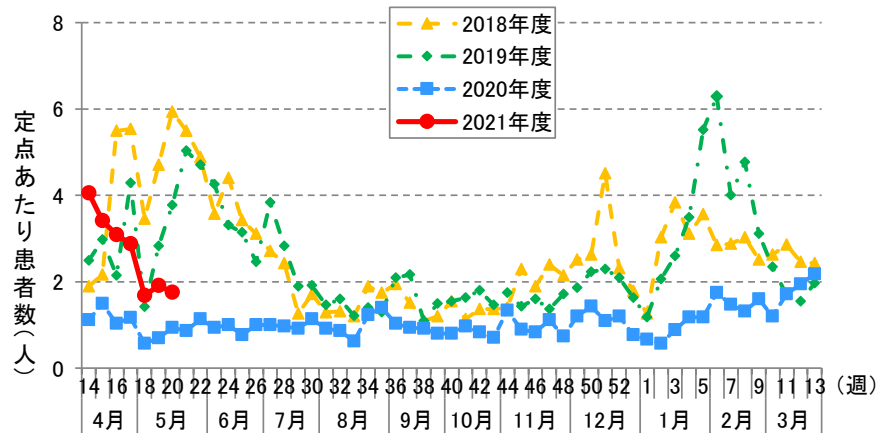


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

RSウイルス感染症情報

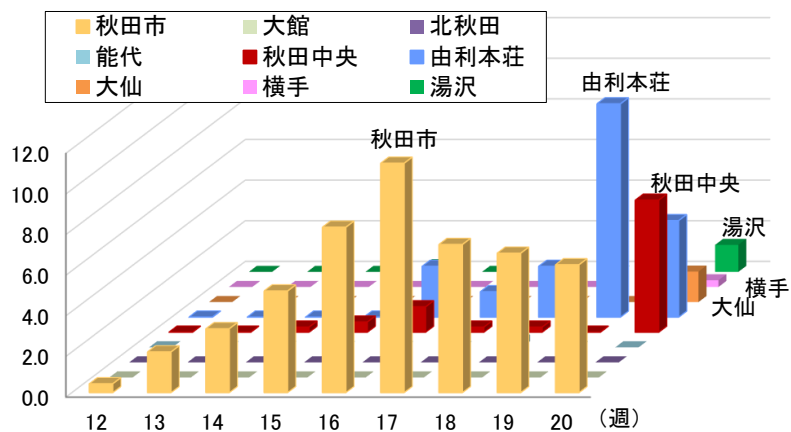


図 RSウイルス感染症の保健所別定点あたり報告数(2021年)

感染性胃腸炎の集団発生発報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が3件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	検出病原体
			利用者(園児)	職員	計			
横手市	たいゆう保育園	5/17	86名のうち18名	22名のうち1名	19名	5/8 ~ 5/17	嘔吐、下痢	ノロウイルス
横手市	相愛保育園	5/18	111名のうち12名	25名のうち0名	12名	5/14 ~ 5/18	嘔吐、下痢	ノロウイルス
大館市	たしろ保育園	5/19	102名のうち12名	39名のうち0名	12名	5/14 ~ 5/19	下痢、発熱	

その他の感染症の集団発生発報告

RSウイルス感染症集団発生報告が4件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
秋田市	北保育園	5/17	40名のうち15名	16名のうち0名	15名	4/29 ~ 5/17	発熱、咳
五城目町	もりやまこども園	5/17	140名のうち20名	40名のうち0名	20名	5/13 ~ 5/17	発熱、咳
由利本荘市	石沢保育園	5/17	23名のうち11名	14名のうち0名	11名	5/10 ~ 5/17	発熱、咳、鼻水
由利本荘市	中央保育園	5/18	136名のうち19名	35名のうち0名	19名	5/10 ~ 5/18	発熱、咳、鼻水

マイコプラズマ感染症の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
秋田市	第一ルンビニ園	5/20	144名のうち13名	38名のうち0名	13名	5/8 ~ 5/20	発熱、咳



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		